

みのかもの自然
危機にある あたりまえ 04

文化の森 ☎ 28-1110

イラスト：渡辺 崇



アオバズク (フクロウ科)

アオバズクは、夕方、日が暮れ薄暗くなった頃から活動を始めるフクロウの仲間です。その名前のように、木々に青葉が茂るころ渡ってきます。林や神社などにある大きな木にあいた穴を巣穴として子育てをします。

夜に高い声で繰り返し鳴くことからその存在を知ることができます。近年、森や林の減少とともに、著しくその数が減り、声を聴くことが少なくなってきました。(美濃加茂自然史研究会 荒井 浩)

